

平成22年2月22日  
原子力安全対策課  
(21-97)  
<16時資料配付>

## 敦賀発電所1号機の今後の運転方針（停止時期）について

県に対し、日本原子力発電株式会社から平成21年9月3日報告があった、「敦賀発電所1号機の運転停止時期を平成22年から平成28年に変更する。」ことについて、県および敦賀市は、本日これを了承した。

了承するにあたって県は、2月17日、直嶋経済産業大臣と面談し、①原発の長期継続運転のエネルギー政策上の必要性と重要性および立地地域の振興について、②厳格な安全規制について、要請を行い、大臣から、「県の要請の主旨を十分理解し、今後取り組みを進めていく。」との回答を得るとともに、2月21日、敦賀市長と面談し、「安全・安心を前提として運転を続けていくことに支障ない。」との意向を確認した。

なお、県は、本日、日本原子力発電株式会社に対し、敦賀発電所1号機が国内で初めて運転開始後40年を超えて運転を続けていくことの責任と使命を十分に自覚し、安全の確保、地域住民の理解、地域への貢献など、県民や国民の信頼に応えるよう、別紙の項目について要請した。

問い合わせ先(担当：神戸) 内線2354・直通0776(20)0314
--

[別紙]

- 1 敦賀1号機の運転停止時期について、更なる変更を行わないこと。
- 2 敦賀3, 4号機の建設について、計画に従い着実に推進すること。
- 3 敦賀1号機について、40年超運転の中間の3年目が経過する平成25年3月までに、それまでの保安活動の実施状況や事故トラブルの発生状況と保全への反映状況を自主的に評価して保安院の確認を受ける「中間安全確認」を実施し、その結果を県に報告すること。
- 4 敦賀本部について、原子力安全研修施設の整備や敦賀3, 4号機の建設等にあわせ、人員の増員や機能の強化など、体制のさらなる充実強化を図ること
- 5 県のエネルギー研究開発拠点化計画へのさらなる貢献や地域産業への技術移転、地元企業への優先発注など、地域振興に引き続き積極的に取り組むこと

(参考) 敦賀発電所1号機 運転停止時期の変更に係る経緯

昭和45年3月14日 …… 営業運転開始

平成14年5月30日 …… 日本原子力発電(株)は、県および敦賀市に対し、敦賀発電所1号機の運転停止時期を「平成22年」とする方針を報告

平成21年2月17日 …… 日本原子力発電(株)は、40年目の高経年化技術評価に基づく長期保守管理方針に係る保安規定変更認可を国に申請

〃 〃 …… 日本原子力発電(株)は、敦賀1号機の運転停止時期を変更することについて検討を開始することを報告

〃 9月3日 …… 経済産業省は、日本原子力発電(株)に対し、保安規定の変更認可

〃 〃 …… 日本原子力発電(株)は、県および敦賀市に対し、これまで「平成22年」としていた敦賀1号機の運転停止時期を「平成28年」に変更する方針を報告

平成22年2月17日 …… 西川知事は、直嶋経済産業大臣に対し、「厳格な安全規制」等について要請

〃 2月21日 …… 西川知事は、河瀬 敦賀市長と面談し、敦賀1号機の運転停止時期に係る敦賀市の意見を確認

〃 2月22日 …… 県および敦賀市は、日本原子力発電(株)に対し、敦賀1号機の運転停止時期の変更を了承